

授業改善プラン

目黒区立第八中学校理科授業改善プラン

	課題となる領域等	年間指導計画	単元指導計画
第一学年	【領域：生命】 （観点：知識・技能） 既習事項との関連 ・植物のつくりとはたらき顕微鏡を正しく操作することができる。 【領域：物質】 （観点：思考・判断・表現） 既習事項との関連 ・物のとけ方ある温度で物が水にとける量を、グラフから読み取ることができる。	① いろいろな生物とその共通点（４月～５月） ② 身のまわりの物質（６月～９月）	・実験や観察を通して実験器具の使い方や、観察・実験の技能の定着を図る。 ・身のまわりの物質について観察、実験などを行い、その結果から物質の性質や物のとけ方の規則性を見い出して、表現できるようにさせる。
第二学年	【領域：地球】 （観点：知識・技能） 既習事項との関連 ・火山深成岩のでき方とできた場所を理解している。 【領域：物質】 （観点：思考・判断・表現） 既習事項との関連 ・水溶液の性質砂糖水の質量パーセント濃度を求めることができる。	① 化学変化と原子・分子（４月～６月） ② 地球の大気と天気の変化（１０月～１２月）	・実験レポートの作成を通して、既習の知識を活用して科学的に考察する力と、文章で論理的に説明する力をつけさせる。 ・小テストや復習テストを実施し、用語や物質の性質、実験方法などの基礎的な知識・技能を定着させる。
第三学年	【領域：物質】 （観点：思考・判断・表現） 既習事項との関連 ・化学変化と物質の質量マグネシウムと結びつく酸素の質量を推定できる。 【領域：エネルギー】 （観点：思考・判断・表現） 既習事項との関連 ・電流の性質家庭内の配線は並列つながじであることがわかり、そのようになっている利点を説明できる。	① 化学変化とイオン（５月・６月） ② 運動とエネルギー（７月～１０月）	・濃度や密度、圧力などの計算問題は、基礎的な計算能力を身に付けるため、個に応じた指導を行う。 ・実験結果の表やグラフ等の資料から分かることを読み取らせる活動を設定する。 ・用語や物質の性質、実験方法などの基礎的な知識を定着させる。 ・並列つながじの利点と、家庭内の配線について、回路図に表しながら考えさせる。